

活動内容		ゴミゼロ事業			
①	日時	令和6年10月30日・令和7年5月30日			
②	場所	各メーカー営業所周辺			
③	参加者	総勢3,214名			
④	内容報告	各メーカー、各営業所で各々開催			
		令和6年	10／30	新潟県支部	1,000名
				長野県支部	700名
				山梨県支部	54名
				小計	1,754名
		令和7年	5／30	新潟県支部	1,050名
				長野県支部	350名
				山梨県支部	60名
				小計	1,460名
		合計		3,214名	

活動内容

安全運転講習会

① 日時

令和6年8月20日、令和7年2月 7日
令和7年3月 7日、令和7年3月15日

② 場所

長野県長野市、長野県松本市、山梨県

③ 参加者

220名

④ 内容報告

(長野支部)

令和6年8月20日 ダスキン 長野市 参加者30名

令和7年2月 7日 サニクリーン 長野市 参加者60名

令和7年3月15日 リースキン 松本市 参加者70名

(山梨支部)

令和7年3月 7日 各メーカー実施 参加者60名

合計220名



1 -3 令和 6 年度事業報告 新潟県支部

活動内容

新潟県支部 献血事業

① 日時

令和 7 年4月1日～5月30日

② 場所

新潟県赤十字献血センター（各会場）

③ 参加者

3 1 名

④ 内容報告

4/1～5/31の 2 か月間という短い期間ではあったが新潟県支部では社会貢献の一環とし献血活動を実施しました。初めての試みということもあり、まずは自分たちのできるから始めることといたしました。そこで、当新潟支部会員の皆様より献血してくださる方を募り、団体名「日本ダストコントロール協会」として献血会場に足を運んでいただくようお願いいたしました。その結果、多くの会員様が社会貢献の意図にご賛同いただき、3 1 名の方に献血をしていただくことができました。

新潟支部ではこの活動を今後も継続していく予定ですが、幾つかの反省点がございます。新潟県は北から南まで 3 0 0 キロ。県内に固定された献血会場 2 か所（新潟市、長岡市）離れた地域には献血バスが定期的に運行していますが、2 か月に 1 回の巡回地域が多く、活動期間の拡大、献血バスのスケジュールの見える化が必要と思われます。

以上の点を踏まえ、次年度の活動に繋げて参ります。あらためてご協力いただきました会員の皆様に心より御礼申し上げます。

献血協力カード
このカードは献血受付スタッフにお渡しください

【企業・団体名】
(株)ダスキン・日本ダストコントロール協会
(営業所名・事業所名もご記入ください)

氏名 XXXXXXXXXX

献血日 2025 年 5 月 22 日

会場名 献血ルーム ばんだい

血液センター記入欄

献血者コード -

400mL ・ PPP ・ PC ・ 不採血



2 | 今後のDC業界における、新しい取り組み（チャレンジ）

発表する内容に○	○	社会（地域貢献）
		親睦による協会のPR活動
		協会として実現したいこと
		その他

■ 発表者	甲信越地域ブロック（株）ダスキン 片岡 孝光
■ テーマ	献血からはじまる社会貢献活動
■ ブロック会 役員メンバー	(株)山梨リース 渡辺 一也・ラミコジャパン(株) 坂爪 晴幸 (株)サニクリーン甲信越 黒岩 隆之・十字屋リース(株) 上嶋 徳久 (株)サニクリーン甲信越 小出 崇史・(株)ダスキン長野エリア 長田 隆人 (株)ダスキン山梨エリア 小倉 秀樹・(株)ダスキン新潟エリア 片岡 孝光

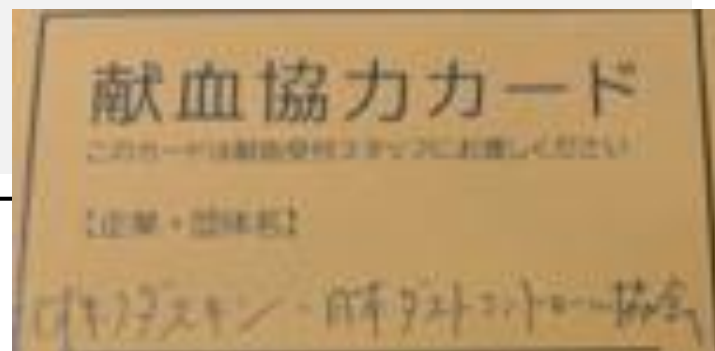
2-1 | 今後のDC業界における、新しい取り組み（チャレンジ）

チャレンジすること

- ・ 甲信越地域ブロック各メーカー社会貢献活動とし献血活動を取り入れる。
- ・ 赤十字献血センターホームページ等に協力団体とし日本ダストコントロール協会を取り上げていただき社会貢献の功績を残す。

チャレンジするためにやるべきこと

- ・ 各都道府県の赤十字血液センター担当者とのコンタクト、コミュニケーションをとる。
- ・ 個人としてではなく日本ダストコントロール協会という団体、そして各メーカーの名を残すため献血協力カード（団体名・企業名を記入するカード）の記入を徹底していく。



2 - 1 | 今後のD C 業界における、新しい取り組み（チャレンジ）

協会本部に対する要望

活動紹介の中にダストコントロール製品性能評価があるが、評価認定が平成27年1月のものになります。既に10年経っており外部（お客様等）へアピールしていくには古いと感じます。是非、評価基準の見直し、評価認定の最新化をしていただき、日本ダストコントロール協会に入会しているメリットを最新の商品評価認定基準でアピールできるようにしていただきたい。

その他

日本ダストコントロール協会に入会している優位性が外部にアピールできることを積極的に取り入れて欲しい。